

令和4年度第1回山縣市公共交通会議 議事録

日 時 令和4年6月28日（火）午後1時30分～

場 所 山縣市保健福祉ふれあいセンター 3階 ボランティア室

会長挨拶

○会長：山縣市では、「ゼロ・カーボン」からより踏み込んだ「カーボン・マイナス・シティ宣言」を23日の市定例議会で承認し、28日には「世界首長誓約」を行いました。地球温暖化は、他人事ではなく、地域全体で取り組んでいくべき課題です。先日、実施しました市の採用試験において、脱炭素社会に向けて特に取り組むべきことを問うたところ、どの受験者からも「公共交通」について挙げられたことから、若年層も公共交通のあり方に高い関心を持っていると考えられます。

その他にも、市民の方から公共交通に関して、増便等のご意見をいただくことがあります。サービス向上のためには多くの方に利用していただく必要があります。皆さんに乗り合わせていただき、バスを確保・維持していければと思います。

また、山縣市バスターミナルでは、無料駐車場の利用も増え、パークアンドバスライドでの、利用者が日に日に増加していると感じています。この流れを活かし、公共交通に対する意識を高めていきたいと思っております。

報告事項1 前回からの経過報告

○事務局：(資料1の説明)

協議事項1 令和3年度決算について

○事務局：(資料2の説明)

○会長：この件について、ご賛同いただけますか。

○委員：(異議なし)

協議事項2 令和4年度予算(案)について

○事務局：(資料3の説明)

○会長：この件について、ご賛同いただけますか。

○委員：(異議なし)

協議事項3 令和5年度地域内フィーダー系統確保維持計画(案)について

○事務局：(資料4の説明)

○委員A：P5(1)事業の目標について、令和5年度の年間乗車人数が28,000人とされています。注意書きにもあるとおり、達成は難しいが、見直し等を行わないということでしょうか。

○事務局：コロナ禍等で、今後のバス利用者の見通しが見つからないため、目標値は地域公共交通網形成計画に記載の数値のままとしています。

○会長：この件について、ご賛同いただけますか。

○委員：(異議なし)

その他1 今年度の予定について

○事務局：(資料5の説明)

○会長：意見交換会の回数と、利用実態調査の調査期間はどれくらいを想定していますか。

○事務局：意見交換会は4回、利用実態調査は一週間を予定しております。

○会長：利用実態調査は、期間中にバスを利用している方にヒアリングを行うという認識で合っていますか。

アンケート調査は中学生、高校生はそれぞれどの学年を対象としますか。

○事務局：利用実態調査は、ご認識のとおりです。

中学生アンケートは市内の全中学校の2年生を、高校生アンケートは市内在住の高校2年生を対象として想定しています。山県高校への通学者を対象とするかは検討中です。

○会長：伊自良地域は特に高校生利用が多い地域です。高校生は実際にバスを利用している、今後も利用する世代であるため、意見聴取については丁寧に行ってください。

○委員A：今年度及び計画策定までのスケジュールについて、現在の想定を教えてください。

- 事務局：今年度は調査・分析を行い、来年度に計画を策定する予定です。地域特性の整理を夏から秋まで、市民ニーズ調査を秋頃から冬の始めまで、状況の分析を1月頃までに行い、計画骨子案を1月から3月で作成予定です。
- 副会長 A：予算書内に記載されている令和4年度山口市地域公共交通計画調査・分析業務（660万）というのは調査・分析における契約金額で間違いはないでしょうか。
- 事務局：その通りです。6月2日に契約をし、660万で契約いたしました。
- 副会長 A：社会福祉協議会に運行を委託している美山地域デマンド型交通について、運行エリアの拡大により、従来とダイヤの誤差が生じるとは思いますが、どのように対応される予定でしょうか。
- 事務局：試行運転の7月から9月は現状のダイヤのままに試行運転を予定しています。通常は30分前まで予約を受け付けていますが、試行運転期間中は、九合、辻石、平、三日月の方には前日17時までで予約を締め切ります。その結果をもとに、必要に応じて10月頃にダイヤ改正を行う予定です。
- 副会長 A：試行運転の周知は、市で実施されていますか。
- 事務局：対象地域の方には6月中旬に回覧で周知しています。

その他2 新規路線利用状況について

- 事務局：(資料6の説明)
- 委員 B：自宅付近のバス停には、日陰がありません。これから更に暑くなることが予想される中、高齢者の利用を考えると、そのあたりを配慮していただけるとありがたいです。
- 事務局：課題として承ります。
- 委員 C：「山県ばすけっと」がバスターミナルと同時期に開設しているが、バスの利用促進に繋がっていると感じますか。
- 事務局：「山県ばすけっと」には、自動車で来訪される方が多く、渋滞の発生や駐車場の追加設置なども行っています。しかし、公共交通を利用し買物に来られる方も見られ、名古屋の方から「山県ばすけっと」へ公共交通を利用した行き方を

尋ねられることもあります。今後も利用促進を高めることに努めてまいります。

○会長：「山県バスけっと」は閉店時間が早く、仕事終わりの買い物などが難しい状況です。担当課では、もう少し遅い時間まで営業している店舗等の誘致を検討しています。

○副会長 B：1つの会議で様々な議題が取り上げられ、なかなか理解が難しい部分もあります。改めて、課題等を整理していただきたい。

○副会長 A：活発した議論がされることを期待しております。

○副会長 B：アンケート調査は、設問の設定や聞き方によって回答が変わってきますので、十分に気を付けてください。

また、現在はコミュニティバス関係について議論しているが、様々な交通機関を組み合わせで運行する時代になっており、バスだけの運行は難しくなってくると思います。次の課題として、より多様な交通機関を検討していく必要があると思います。

○事務局：次回の公共交通会議は1月頃を想定しております。

以上